

20 貴金属装身具



宝石の美しさを精緻な技巧が彩る

貴金属装身具は、一般的にジュエリーと称され、デザインを基に金、プラチナ、銀などの貴金属材料を加工し、貴石・真珠等を用いてブローチ、ペンダント、イヤリング、指輪等の装身具を製作したものをいいます。経験により培われた技能と、製作者各々の感性により表現されたジュエリーは、長い歴史の中で時代と民族を問わず、多くの人々が創意工夫を凝らして受け継がれてきたものです。



競技概要 競技時間 9時間(1日目7時間/2日目2時間)

18金地金を使用してペンダントを作成する

支給された18金の材料を使用し、課題図に示された作品を製作します。製作工程は選手各々異なりますが、課題図に沿ったパーツを材料から切り出し、曲げ、成形及びろう付等の作業を行い組み立てていきます。今回の課題はシンメトリーに羽が広がり、中央に3個の石をセットして装身具として美しさを際立たせるデザインにしました。装身具を製作するのに、すべての技巧を取り入れた課題内容となっております。



第30回 競技課題

Point

- ① 装身具として美しく、バランス良く組み立てる。
- ② 限られた支給材から、正確に材料取りをして、課題図に示されたように立体的に表現し具現化する。
- ③ 課題図の指定寸法は全て許容差内で仕上げる。
- ④ 競技時間9時間内で全ての工程を終える。

